



# みくにだより

## 「職場体験のお姉さん先生から学んだこと」

園長 細井 典子

みくに学園では、お客様が大勢いらっしゃいます。昨年も10～11月にかけて近隣5校の小中学校の職場体験学習として素敵なお兄さんお姉さんたちが来てくださいました。幼稚園、認定こども園とは、いったいどのような所なのでしょう？職場体験の目的は「働く」体験を通して働くことの苦労や喜びを体験する、体験を通して自己の適正について理解を深めることにありました。初めは、どの教室に入っても緊張した表情で立ちつくすお姉さん先生。どのクラスも最初に声をかけたのは、子ども達の方です。

「いっしょに遊ぼうよ」とか「だあれ？名前は何っていうの？」という積極的な声かけに、中学生の方がほっとした表情を浮かべながら園児の後をついて行って椅子に腰かけています。

「職場体験を終えて・・・」という学校へ戻ってから書いたレポートを読ませていただくと、「園児に好かれなかったら、どうしよう？」「今日一日うまく出来るか不安でした。でも、遊びに誘ってくれてうれしかった」「保育士の楽しさや大変さがわかった」「仕事が魅力的に感じられた」と書いています。

体験を通して将来の夢を考える良い時間になったようです。

お姉さん先生は体験学習の何日前に、みくに学園へきてオリエンテーションを行います。その時、

①朝の集まりの時に自己紹介をする

②その後降園までの間に何か一つ、得意なことを子どもたちに紹介すること、をお願いしています。

さあ、大変！大きな宿題をもらいました。友だち同士で「何する？どうしようかな？」の連発です。

『私の得意なこと』を見つめること。普段の学校生活ではできない体験です。ある方は、リコーダーを持ってきてくれました。そして皆と一緒に「さんぽ」の歌を歌いながらリコーダーを演奏しました。

「大きな声で歌ってくれて感動した」と彼女は目を輝かせて言っていました。卓球部の彼女はラケットで球をついてトントントンと20回以上球をつき続けることができ大きな拍手をもらいました。縄とび、ピアノ、絵本読み、手品、アカペラで歌う・・・等々。発表しているお姉さんもすごいのですが、そのお姉さんを食い入るように見ていた園児の皆さんの『目』がキラキラ輝いていました。今までにない刺激をたくさん受けたようです。あこがれの気持ち「あんなステキなお姉さんになりたい・・・」相互に学び合うことの出来た貴重な日々でした。

最後に、あるお姉さん先生の感想です。「私が一番印象に残ったのは『自分の得意なことを紹介する時』です。その時間は5分と短くて最後まで悩んでいました。すると園児の子が「絵が上手だね」と言ってくれたので、「そうだ！黒板に絵を描いて、当ててもらおう！」と考えました。でも何を描けばいいのか悩んでいると先生がアドバイスしてくれて助かりました。ドラえもののひげから描くと、すぐに当ててくれてうれしかったです」園生活の毎日は、刺激的な毎日の連続です。小・中学生のお兄さん、お姉さんに乾杯!! ありがとうございました。

### 『もしも雪が降ったときは・・・』

これからは寒さ厳しい冬です。もしも、雪が降ったら皆さんで、雪遊びをしましょう。雪だるま作り、雪うさぎ、かまくら等々。雪合戦も面白そうですね。そこで雪遊びを楽しむために毛糸の帽子、手袋、厚手のコートなど防寒具と着替え（ズボン、靴下、シャツ、下着）を持ってきてください。

雪の日はメールで連絡しますが、自由登園となります。無理をせず、出来る範囲の方法で登園していただきたいと思います。その際給食準備の都合もありますので、登園時間に遅れそうな方は、出席するか、欠席なのかを9時までにお知らせください。雪の一日を一緒に楽しみましょう。